

ニュースリリース

Sapporo Concert Hall Kitara
札幌コンサートホール

平成 29 年 10 月開催 札幌コンサートホール主催事業について

第 19 代札幌コンサートホール専属オルガニスト マルタン・グレゴリウス デビューリサイタル

札幌コンサートホール Kitara では、そのシンボリック的存在である大ホールのパイプオルガンの魅力を、広く深く世界へ向けて発信する専属オルガニストを、ヨーロッパより 1 年間の任期で、招聘しております。このたび、第 19 代専属オルガニストとしてマルタン・グレゴリウスが着任。10 月 7 日には、お披露目公演を開催いたします。Kitara のオルガンから紡ぎ出される新たな音色、意欲あられる演奏にご期待ください。1 年間、皆様の温かいご声援をお願いいたします。

■日時

10 月 7 日 (土) 14:00 開演 (15:30 終演予定)

■プログラム

J.S.バッハ：パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582

デュリュフレ：オルガン組曲 作品 5 より シシリエンヌ

グレゴリウス：即興による舞踏組曲 ほか

■料金

全席指定 (税込) 一般 1,000 円 U25 シート 500 円



マルタン・グレゴリウス Martin Gregorius

1991 年、ポーランド生まれ。グダニスク・スタニスラフ・モニューシュコ音楽アカデミーやパリ国立高等音楽院などでオルガンを学ぶ。これまでに、ベルサイユ宮殿王室礼拝堂をはじめヨーロッパ各国でコンサートを行ったほか、さまざまなオーケストラや演奏家と共演。教育活動にも熱心に取り組んでいる。2016 年、シュレーグル国際オルガン即興コンクール第 1 位ほかヨーロッパ各国のコンクールで優秀な成績を修めている。2017 年 9 月、第 19 代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。

オルガン・アウトリーチについて

Kitara が所有するオルガンを小学校へ運び、おでかけコンサートを行います

札幌コンサートホールでは、ホールが所有する移動可能な小型のパイプオルガン「ポジティブ・オルガン」を札幌市内小学校へ運び、アウトリーチコンサートを行っています。平成 24 年度の開始から、これまでに 1,300 人以上の児童にオルガンの音色を届けてきました。

今回は、第 19 代札幌コンサートホール専属オルガニストのマルタン・グレゴリウスによるオルガン演奏と、札幌出身のオルガニスト 吉村 怜子によるお話で、オルガンの魅力を紹介するプログラムです。10 月は、札幌市立西岡北小学校（10 月 25 日）、札幌市立もみじの森小学校（10 月 27 日）の 2 校で開催します。

■コンサート概要

出演：オルガン／マルタン・グレゴリウス

（第 19 代札幌コンサートホール専属オルガニスト）

お話・通訳／吉村 怜子

使用楽器：草苅オルガン工房制作 ポジティブ・オルガン

（1 段鍵盤 3 ストップ）

内容：45 分間のプログラム

- ①オルガンの演奏
- ②オルガンについてのお話
- ③オルガンと歌や楽器の合奏 など



ポジティブ・オルガン

札幌市立西岡北小学校

日時：10 月 25 日（水）13：45～14：20

場所：札幌市立西岡北小学校 視聴覚室（3 階）

対象：小学校 3 年生 約 60 名（2 クラス）

+教職員の皆様

札幌市立もみじの森小学校

日時：10 月 27 日（金）13：45～14：20

場所：札幌市立もみじの森小学校 夢広場（2 階）

対象：3・4 年生 約 120 名（4 クラス）

+教職員の皆様



吉村 怜子 Satoko Yoshimura

札幌コンサートホール Kitara のオルガンスクールにて、3 年間オルガンの初歩を学ぶ。東京藝術大学音楽学部器楽科（オルガン専攻）卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。その後、フランスのリヨン国立音楽院オルガン科卒業、同音楽院修士課程修了。オルガンを大野 敦子、小林 英之、深井 李々子、廣野 嗣雄、早島 万紀子、廣江 理枝、F.エスピナス、L.シュルンベルジェ、チェンバロを小島 芳子、大塚 直哉、通奏低音を今井 奈緒子、Y.レヒシュタイナーの各氏に師事。

取材ご希望の際は、10 月 23 日（月）までに下記担当へご連絡ください。

※各学校への直接のお問い合わせ、お申込はご遠慮ください。

【担当・お問い合わせ】

札幌コンサートホール事業課事業係 木村、橋本、日下

〒064-8649 札幌市中央区中島公園 1-15 TEL 011-520-2000 FAX 011-520-1575